

画面

病院・手術室

恋人が重体で運ばれたマリイ  
が、医師マークと向かい合っ  
て話している。

手術台。

恋人のジョセフの姉、シンシ  
アとマリイがジョセフの手を  
握りながら話している。

空気が読めないジョセフの弟  
ブライアントが陽気に手術部  
屋に入ってくる。

マリイとシンシアがブライア  
ントに冷たく当たる。

セリフ

マリイ ドアをたたく。たたき終わる前に無理やり入ってくる。

「ねえ、先生、ジョンのこと、絶対助けてくれるでしょ？」

マーク（少し黙って）「・・・そうですね、まあ、出来ること

は・・・するつもりです」

マリイ（イライラした顔で）「あなた・・・それでも・・・医者な

の？」

マリイ 「ああ、シンシア、こっち、こっちきて？」

（マリイシンシアを見つめて）

「シンシア、お願いだから手を握ってあげて。」

シンシア（シンシアしっかりジョセフの手を握りながら）

「そういえば・・・マーク先生は何て言ってたの？」

マリイ（気まずそうに）

「ごめんなさい・・・今。ちょっと話せないわ。」

シンシア（軽くうなづくように）「わかった。」

ブライアント（口笛を吹きながら歩く）

「やあ、ねえさんたち、愛し合ってるかい？」

マリイ（むっとした顔で）

「愛し合ってるわけないでしょ！状況読んでよ！」

シンシア「想像力という一番大事な能力がないのね、あなたには！」

ブライアント（無視しながら口笛をして舌打ちをする）

